

当該価格で入札した理由

- ◎ 当該価格で入札した理由を、労務費、手持工事の状況、当該工事現場と事務所・倉庫との関係、手持資材の状況、手持機械の状況、下請け会社等の協力等からの面から記載する。

なお、当該価格で入札した結果、安全で良質な施工を行うことは当然である。

様式 4－1

手持ち工事の状況（対象工事現場付近）

工 事 名	発 注 者	工 期	金 額	備 考

※ 対象工事現場付近（半径 10 km程度）での手持工事の件名を記入し、その工事現場が確認できる図面（対象工事の位置も記入）を添付すること。図面の縮尺は自由とする。

手持ち工事の状況（対象工事現場付近）による縮減経費の算出調書

工 種 （経 費 名）	単 位	数 量	単 価 （円）			縮減可能額 （円）
			標 準	自 社	差 額	

※ 共通仮設費については、準備費、運搬費、安全費等の詳細項目まで記入すること。

手持ち工事の状況（対象工事関連）

工 事 名 (工 事 地 先 名)	発 注 者	工 期	金 額	備 考

※ 対象工事の同種又は同類の手持工事名を記入すること。

手持ち工事の状況（対象工事関連）による縮減経費の算出調書

工 種 (経 費 名)	単 位	数 量	単 価 (円)			縮減可能額 (円)
			標 準	自 社	差 額	

※ 共通仮設費については、準備費、運搬費、安全費等の詳細項目まで記入すること。

様式 6

契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関連

◎ 分かりやすい地図で契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関連が明確になるように記入する。
また、所在地も明らかにする。(縮尺は自由とする。)

契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関連による縮減経費の算出調書

工 種 (経 費 名)	単 位	数 量	単 価 (円)			縮減可能額 (円)
			標 準	自 社	差 額	

※ 共通仮設費については、準備費、運搬費、安全費等の詳細項目まで記入すること。

様式 7

手持ち資材の状況

[illegible]

手持ち資材の状況による縮減経費の算出調書

[illegible]

資 材 購 入 先 一 覽

[illegible]

※「入札者との関係」については、購入先予定業者との関係を記入すること。

(例) 協力会社、同族会社、資本提携会社等（但し、関係を証明する規約、登録書等を添付すること。）

資材購入先の協力等による縮減経費の算出調書

[illegible]

工 種 別 労 務 者 配 置 計 画

工 種	種 別	配 置 予 定 人 数 (人)						備 考
		世話役	普通作業員	配管工	電 工	運転手	計	
(例) 土 工	掘削工・埋戻工 ・残土処理	1	17			2	20	自 社 施 工
土 工	掘削工 残土処理	1	3			1	5	下 請 施 工

※1 自社施工分と下請施工分とを区分して記入すること。

※2 本様式の配置予定労務者人数と様式10の労務者人数は整合がとれていなければならない。

過去に施工した公共工事名及び発注者

発注 年度	発注者	工 事 名	工 期	請負金額 (円)	評点	備考

※1 過去5ヶ年程度の実績を記入すること。

※2 過去に施工した工事で低入札案件については、備考欄に◎印を記入すること。

建設副産物の搬出地

[illegible]

※ 当該工事で発生する全ての建設副産物（コンクリート塊、コンクリート・アスファルト塊、建設発生木材、建設汚泥、建設混合廃棄物、建設発生土等）

建設副産物処理による縮減経費の算出調書

[illegible]

様式 14－1

第 1 次 下 請 負 契 約 予 定 者 名 簿

下 請 業 者 名	下 請 内 容 (工 種・数 量 等)	予 定 金 額 (円)

※ 元請業者の注文書及び下請業者の見積書の写しを添付すること。